

モバイルフォールアレスターに関するヨーロッパ規格：EN 12841:2006 Type A

規格	EN12841:2006 Type A
	ロープアクセス用モバイルフォールアレスター
ロープとの適合	<ul style="list-style-type: none"> ・器具が指定するロープと併用が可能 ・ロープ上どこにでも取り付けが可能
構造	<ul style="list-style-type: none"> ・偶発的にロープから外れない構造 ・ロープへの取り付け / 取り外しには 2 つ以上の異なる意図的な操作が必要
取り付け位置での安定	<ul style="list-style-type: none"> ・操作なしにロープ上をスライドしない ・ロープに器具を取り付け、100 mm 自重落下させたとき、ロープ上のスライド距離 300 mm 以内でロープをロックする。尚、この試験は、どのような自重落下でも確実にロックすることを確認するまで繰り返す。
ロック機能	ロープ上に取り付けた器具に、長さ 400 mm のランヤードを用いて 5 kg のおもりを取り付ける。おもりを器具と同じ高さから落下させたとき、器具がロープをロックする
最大運用荷重	1 人用 ≥ 100 kg 2 人用 ≥ 200 kg
動きの確認	ロープ上を一方もしくは両方向にスムーズに動かすことが可能
ロック機能の耐荷重	テスト方法: ①ロープ上に器具をセットしロックさせる ②1 kN の荷重を加える (A) → 荷重を器具の最大運用荷重 +1 kN まで増加させる (B)
	結果: <ul style="list-style-type: none"> ・ロープ上を滑る距離 (A → B) : ≤ 100 mm ・ロープ及び器具に損傷がなく、機能が損なわれていない
破断強度	ロープにセットされた器具へ荷重をかける (器具はロックさせず、ロープに結び目等の滑り抜け防止を講じる) > 15 kN
動荷重テスト 1	テスト方法: おもり = 100 kg または製品の最大運用荷重 (100 kg 以上の場合) ①支点到ロードセルを介してロープをセットし、ロードセルから 1 m の位置に器具を取り付ける ②おもりを指定のランヤード / カラビナを介して器具に取り付け、60 秒吊り下げた状態を保つ ③おもりをランヤード / カラビナの 2 倍の距離引き上げてから落下させる (おもりの落下開始地点と支点的水平距離 = 250 mm (*1)) *1: ランヤード / カラビナの長さが 1 m に満たない場合、ロープが弛んだ状態になる可能性あり
	結果: <ul style="list-style-type: none"> ・衝撃荷重: ≤ 6 kN ・器具のスライド距離が 2 m 以内
動荷重テスト 2	テスト方法: おもり = 100 kg または製品の最大運用荷重 (100 kg 以上の場合) ①支点到ロープをセットし、支点から 1 m の位置に器具を取り付ける (支点から 4 m の位置には抜け防止のためオーバーハンドノットを作成する) ②おもりを指定のランヤード / カラビナを介して器具に取り付け、60 秒吊り下げた状態を保つ ③おもりを 2 m の距離引き上げてから落下させる (おもりの落下開始地点と支点的水平距離 = 250 mm)
	結果: <ul style="list-style-type: none"> ・おもりが脱落せず、且つ器具のスライド距離が 2 m 以内

※ 上記項目は、全て器具の対応する最小径及び最大径のロープにて行う。また、併用可能なロープ (EN1891) の指定がない器具については、メーカーの情報に含まれないモデルにて少なくとも「動荷重テスト 1」及び「動荷重テスト 2」を行う。

モバイルフォールアレスターに関するヨーロッパ規格：EN 353-2:2002

規格	EN353-2:2002
	フレキシブルアンカーラインを含むガイド式フォールアレスター (※)
構造	<ul style="list-style-type: none"> ・併用するロープは繊維性もしくはワイヤーロープである ・ロープから取り外しが可能な場合、取り付け / 取り外しには 2 つ以上の異なる意図的な操作が必要
ロック機能	ロープ上に取り付けた器具 (ロープ及び器具には前処理を施す) に、5 kg の錘を取り付けて落下させたとき、器具がロープをロックする
破断強度	繊維性ロープ: > 22 kN
	ワイヤーロープ: > 15 kN
	器具: > 15 kN
動荷重テスト	テスト方法: おもり = 100 kg ①支点到ロードセルを介してロープをセットし、ロードセルから 30 cm 以内のロープ上に器具を取り付ける ②おもりを指定のランヤード / カラビナを介して器具に取り付け、ランヤード / カラビナの 2 倍の距離引き上げてから落下させる (おもりの落下開始地点と支点的水平距離 ≤ 300 mm)
	結果: <ul style="list-style-type: none"> ・衝撃荷重: ≤ 6 kN ・おもりの墜落距離: $<$ ランヤードやコネクターの距離の 2 倍の距離 + 1 m

※ ガイド式フォールアレスター：操作をせずに作業者の動きに合わせてロープ上を上下に移動し、墜落の際にロックする器具